



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成28年3月24日発表
担当課:産業振興部
商業観光課

事業の名称等 熊谷さくら祭及び関連イベントについて

1. 日時

平成28年 3月25日(金)～4月8日(金) ※予定(開花状況により変更になる場合あり。)

2. 場所

熊谷桜堤

3. 事業概要

(目的・影響・効果)

江戸時代から桜の名所として知られる熊谷の桜をPRし、集客を図るとともに、まちなかの活性化を目指します。関連イベントの開催により、さらに多くの集客が見込まれます。

(内容)

3月18日(金)より、休日を除き毎日、市ホームページに桜の開花状況を掲載します。

また、桜のライトアップを午後6時から9時まで実施し、夜桜も楽しめます。

関連イベントとして、①4/2(土)に初開催の「熊谷さくら流鏝馬」、②4/3(日)に「第8回くまがや桜よさこい」が開催されます。

(経緯・経過)

旧堤「名勝熊谷桜」大正12年埼玉県史蹟名勝天然記念物指定、昭和2年国史蹟名勝天然記念物指定。新堤：昭和16年に200本を植栽。その後の補植などにより、「熊谷の桜堤」を再現しました。

4. 特徴やPRポイント

会場となる熊谷桜堤は、熊谷駅から徒歩約5分と交通アクセスが良く、約500本のソメイヨシノがおよそ2キロメートルの長い桜のトンネルをつくりあげ、菜の花の絨毯が広がります。露店も多数出店します。

関連イベントの「熊谷さくら流鏝馬」は、(一社)武道振興会 倭式騎馬會が荘厳な演武を披露します。流鏝馬終了後には當的の頒布や体験乗馬(有料)を行います。また、特別アトラクションとして、桜に更に「和」の雰囲気添える書道パフォーマンスを行います。

「第8回くまがや桜よさこい」では、市内外からチームが集結し、華麗な舞を披露します。

5. その他

問合先

「熊谷さくら祭」「熊谷さくら流鏝馬」熊谷市観光協会 048-524-1111(内線312)

「第8回くまがや桜よさこい」くまがや桜よさこい実行委員会 090-4388-8709

※資料の有無(有 ・ 無)

担当者 熊谷市産業振興部 商業観光課 田沼・生江

連絡先 TEL 048-524-1111 内線313

Kumagaya
Sakura
Yabusame

熊谷さくら流鏑馬

満開の桜堤を背に駆け抜ける古式ゆかしきものふのたしなみ



平成28年4月2日(土)
熊谷荒川緑地 自由広場

雨天決行

特別アトラクション

※雨天の場合は中止となります。



12:15～
松山女子高校 書道部
書道パフォーマンス

熊谷市弓道連盟(運動公園弓道会)
の皆様による

弓道演武 11:45～12:15

弓道体験 ①10:30～11:30
②15:30～16:30



◎12:40～ 安全祈願祭 (荒川公園)

◎13:30～ 流鏑馬行事 (荒川緑地 自由広場)

- ・流鏑馬開始宣言
- ・扇舞の儀
- ・馬上武芸
- ・駒見せ
- ・素馳せ
- ・流鏑馬



◎15:30～ (流鏑馬終了後)

- ・當的(あたりま)頒布 ※初穂料を申し受けます。
- ・体験乗馬 ※乗馬料500円を申し受けます。

※写真はイメージです。

當的
熊谷さくら
流鏑馬

伝

熊谷東型紙

背景の模様は熊谷の「絆 矢羽根」型紙から
おこしたものです。

●主催：熊谷市観光協会 ●後援：熊谷市・熊谷市教育委員会 ●演武：(一社)武道振興会 倭式騎馬會
●協力：熊谷市弓道連盟・埼玉県立熊谷女子高等学校・埼玉県立松山女子高等学校・熊谷市立荒川中学校

熊谷桜堤は江戸時代から桜の名所として知られ、平成2年には日本さくらの会から「日本さくら名所100選」に選ばれました。今も変わらず多くの花見客が2kmほど続く約500本のツメヨシノのトンネルを鑑賞するために訪れます。本年も熊谷さくら祭が3月25日(金)~4月8日(金)まで(予定)開催されます。その桜が最も美しく満開の時期を迎える4月2日(土)に、本市では初めてとなる流鏑馬を熊谷桜堤で開催いたします。「熊谷さくら流鏑馬」の名のとおり満開の桜堤を背に勇壮にして華麗な伝統武術と桜の競演をお楽しみください。

熊谷さくら 流鏑馬

平成28年4月2日(土) 熊谷荒川緑地 自由広場



扇舞の儀



馬上武芸



駒見せ



素馳せ

流鏑馬とは

流鏑馬(やぶさめ)とは、馬に乗って走りながら弓(和弓)を使い、鏑矢(かぶらや:矢尻が特殊な形をしていて、放つと音を立てる)で三枚の的を射当てる騎射です。日本の伝統的な騎射の技術で、現在でも神社などで儀式として行われています。

その昔、流鏑馬は天下泰平、国家安穩、五穀豊穡を祈願する神事として、宮中や神前で行われ、当たった的や矢を御守護としていただく習わしでした。流鏑馬は、平安時代に武士の実践的訓練として行われていましたが、中世には儀式化されたようです。また、戦国・江戸・近代と時代の流れにより武士道が衰退してしまっただけでなく、流鏑馬も執り行われなくなりました。

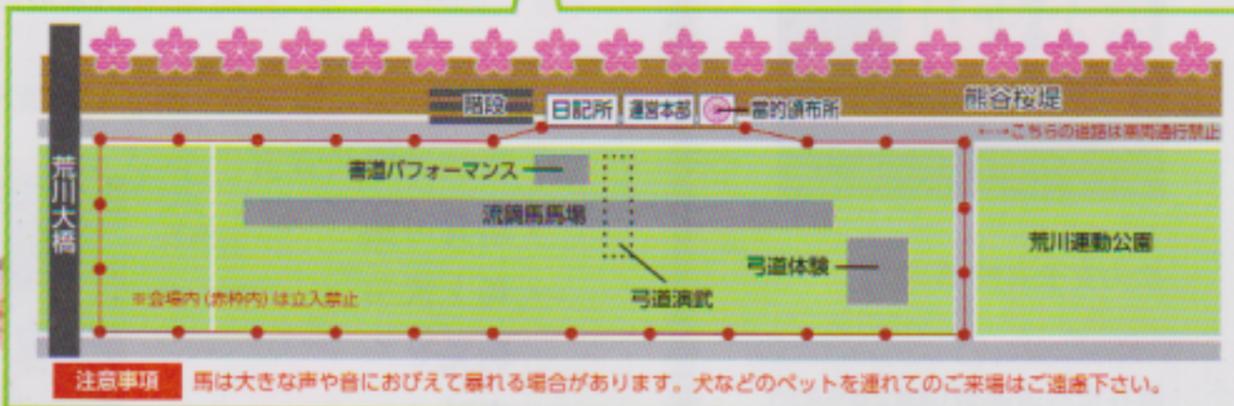
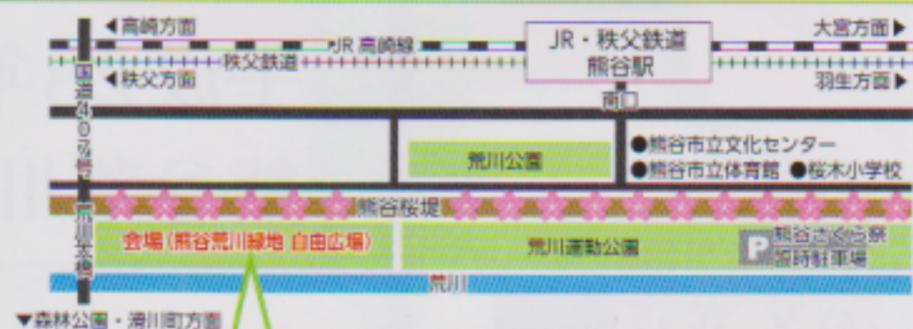
かつて埼玉県内では、数十か所で流鏑馬行事が行われてきました。このことは、武蔵武士が鎌倉時代を支えてきた象徴だと思われます。昨今では儀式騎馬会による流鏑馬が、伝統文化の復興の一環として秩父神社をはじめ、小鹿野町小鹿神社、嵐山町鎌形八幡神社、嵐山町嵐山重忠公居城菅谷館跡、川越市河越館跡等で執り行われています。



流鏑馬

<熊谷さくら流鏑馬会場までのアクセス>

- JR高崎線、上越・北陸新幹線、秩父鉄道 熊谷駅南口より徒歩約8分
 - 関越自動車道東松山ICから国道407号で約30分
 - 熊谷さくら祭臨時駐車場あり(約250台)
- ※会場周辺は熊谷さくら祭開催に伴い、一部道路が交通規制となっています。予めご承知おきくださいますようお願いいたします。



熊谷次郎直実と流鏑馬

郷土の武将・熊谷次郎直実(くまがいじろうなおさね)は幼名を「弓矢丸(ゆみやまる)」といい、「弓」の名手で武芸に秀でていたと伝えられています。源平合戦の中でも、当代唯一の剛の者として、常に先陣を切って敵陣に挑んでおり、幾多の敵を打ち取ってきた兵(つわもの)として語り継がれています。

熊谷市の玄関口となる熊谷駅前の武者像は北村西望作の直実公ですが、台座には「熊谷の花も実もある武士道の香りや高し 須磨の浦風」と西望自身が詠んだ直実を称える歌が刻まれています。

このように、熊谷市のシンボリック存在の「直実」と「流鏑馬」、さらに日本人の心の花「桜」は繋がる点も多く、今回の「熊谷さくら流鏑馬」の開催は歴史的にも文化的にも大変意義が深いものとなるでしょう。

●熊谷さくら流鏑馬についてのお問い合わせ先 熊谷市観光協会 tel.048-524-1111

※熊谷桜堤の開花状況は熊谷市のホームページで確認できます。

熊谷市

検索

熊谷市観光協会のHPへは
こちらのQRコードをご利用下さい。(スマートフォンのみ対応)

